

2.

世界遺産に登録された吉野 山ハイク 2004.10.13.

蔵王権現三尊像を拝観して 大峯奥駈道 を青根が峰まで



吉野山 大峯奥駈道 2004.10.13.

吉野といえば、山桜の名所であるが、今吉野から大峯山・熊野に至る参詣道が世界遺産に登録され、すごいブームである。

9 月末 大阪市立美術館で開催された「祈りの道 吉野・熊野・高野」に出展されていた吉野金峯山寺 蔵王権現立像のあまりの迫 力にビックリ。

最近ついで感じなかったエネルギーをもらったような気がしました。



吉野 金峯山寺の蔵王権現堂の本尊 秘仏 金剛蔵王権現三尊像が世界遺産に登録されたのを期に特別公開されているのを知って 是非 直に吉野山中の蔵王権現堂で見たいと吉野に出かけました。

あわせて この蔵王権現堂から大峰山を経て熊野へ険しい大峯の峯々を縫って続く修験の道「大峯奥駈道」。このスタートの部分 蔵王権現堂から桜が続く中千本・上千本・奥千本を抜けて吉野山の頂上青根が峰までぶらぶら少し歩いてきました。

吉野山から大峯山山上ヶ岳にかけての一带は古くは金峯山（きんぷせん）と称し、古代より世に広く知られた聖域。この金峯山に役行者が白鳳年間（7世紀後半）に修行に入り、修験道独特の本尊・金剛蔵王大権現を感得。この姿を桜に刻んで、山上ヶ岳（現：大峯山寺本堂）と山麓の吉野山（現：金峯山寺蔵王堂）に祭祀されたのが金峯山寺の開創と伝えられている。



吉野山 金峯山寺 蔵王堂と金剛蔵王権現 三尊像

昭和 23 年（1948 年）蔵王堂（国宝）を中心に、金峯山修験本宗が立宗。その総本山として今日に至っている。秀吉が建てた現蔵王堂は金峯山寺の本堂で、重層入母屋造り、桧皮葺き、高さ 34 メートル、四方 36 メートル。堂々とした威容の中に、優雅さがあり、たいへん勝れた建築で奈良の大仏殿に次ぐ巨大な木造建築物(国宝)である。

秘仏本尊蔵王権現は三尊はそれぞれ約 7 m の巨大な立像で、中尊は釈迦如来・左尊は千手観音・右尊は弥勒菩薩の化身とされ、また 過去・現在・未来をあらわすとされている。

世界遺産に登録された吉野山ハイク

蔵王権現三尊像を拝観して 大峯奥駈道を青根が峰まで

1. 近鉄吉野駅から蔵王 権現堂へ 秘仏 蔵王権現三尊像拝観
2. 大峯奥駈道を青根ヶ峯へ【1】 中千本から上千本 水分神社へ
3. 大峯奥駈道を青根ヶ峯へ【2】 大峯奥 駈道を青根 ヶ峯へ
4. 奥千本 西行庵を経て帰路へ

1. 近鉄吉野駅から蔵王権現堂へ 秘仏 蔵王権現三尊像拝観



吉野川と上市の家並み 正面奥室生の山並み



正面右 三角の山が吉野山 青根ヶ峯

10月13日晴れ 家内に握飯を作ってもらって 9時10分大阪阿部野橋発吉野行の近鉄特急に飛び乗る。吉野・熊野は険しい山中というが、大阪から山と盆地を抜け、1時間ちょっとで吉野に着く。

檀原神宮・飛鳥を過ぎ、金剛・葛城の山々と明日香の山々の間を縫うように点々と続く山里の集落を抜けてゆく。集落のない山中に分け入りトンネルを抜けると東西に流れ下る大河吉野川にぶち当たり、川沿いにすこし遡ると上市。吉野の入口である。

川向こうに吉野・大峯の山並みが続く。

ここで、電車は南へ90度曲がって吉野川を渡り、谷間をすこし進むと終点吉野。

吉野川を渡ると深山の吉野 遠い遠い山中にやってきた感じがする。

平日で朝早かったからなのか 駅に降り立ったのは10名ほど。

静かなものである。



近鉄吉野駅と駅前からのロープウェイ

吉野駅の広場から 南見上げる山筋が吉野山。

ここから吉野山・山上ヶ岳・行者還岳そして大峯の最高峰 八経ヶ岳を経て熊野本宮へと大峯・熊野の山々続く。そして この峯々の縦走路は古代から今にいたるまで連綿と続く「大峯奥駈道」と呼ばれる修行の厳しい山岳道。一度はきっちり縦走してみたい道である。

駅前のロープウェイ乗り場に座っているばあさんが声をかける。「山上まで歩くと30分 ロープウェイで5分」と。人影のない駅に小さなロープウェイがかかり、上に山上駅が見える。車道を歩くのもいやだし、乗って行くか・・・とつい楽しみました。



金峯山寺 銅の鳥居と仁王門前 2004.11.5.

ロープウェイの山上駅前からは狭い尾根筋の一本道の両側にみやげ物店や宿屋などが建ち並ぶ門前街が続く。狭い尾根筋に門前の街がひしめいていて、下界とは違う山上の宗教都市の中にはいりこんだことを感じる。銅の大鳥居の前にでて、それをくぐると程なく巨大な仁王門とその前の石段。大きな仁王門の屋根に重なって、権現堂の大屋根が見える。

大きな金剛力士像がにらみつける仁王門をくぐって 樹木の緑が美しい坂道を登りきると大きな蔵王堂の前。平日なので人も少なく静かなもの。

秀吉が再建したという蔵王権現堂 奈良の大仏殿に次ぐ巨大木造建築物。

ようこんな山上に巨大なものを..... さすが秀吉である。



金峯山寺 本堂 蔵王権現堂



蔵王権現三尊はこの蔵王権現堂が債建されて以来ご本尊として鎮座。

通常は扉が閉められ、4年一会の密教儀式の時以外は眼に触れることがない。今回「紀伊山地の霊場とその参詣道」が世界遺産に登録されたのを期に一年間にわたり、ご開帳されている。

蔵王堂の中に入り、三尊の前に座ると三体の仏像がすごい形相で自分にせまってくる。



金峯山蔵王権現堂ご本尊 世界遺産登録 特別ご開帳された 秘仏 蔵王権現三尊像
左から 弥勒菩薩(5.9m) 釈迦如来(7.3m) 千手観世音菩薩(6.1m) の化身
(堂内は撮影禁 金峯山寺インターネットより採取)

過去・現在・未来の三世にわたる守護仏で、穏やかで静かな形相の裏にある強い意志と力で悪に立ち向かう化身のお姿で

どちらのお姿も深い慈悲の心を示しているという。

役行者がこの吉野・大峰の厳しい大自然の中での苦行の中、強い祈念の中で感得された蔵王権現様。神であり、仏であるとして神仏混淆を旨とする修験道のご本尊で、ご本尊の前で静かに祈り拝めばすべてを認め、一切を許す「恕の心」を感じ取れ、「今 憎しみの宗教戦争とも取れる戦乱の中 世界平和を一心に祈る」と説く。

そんな説法を聞いたこともあって、目の前の蔵王権現像にマリア像を重ねていました。

修験の道がこんなおおらかな広がりを持っていたとは知りませんでした。

本当にものすごいその形相に頭の中は空っぽ 思わず眼を伏してしまう。

蔵王堂内の右端の役行者像の前では護摩が焚かれ祈祷がはじまった。

私はクリスチャンですが、思わず成田新勝寺で教えてもらった不動明王御真言 ウラオボエですが、「ノウマクサンマンダバザラダンゼンダ・・・(マカロシャダソワタヤウンタラタカンマン)」ぼそぼそ唱えて、世の平和と一緒に祈念する。

三尊像をながめたり、訪れる人に説法する坊さんの話に耳を傾けたり、ぼんやりとしばらくの間お堂の中に座っていました。

教会のお御堂もそうですが、お堂の中で 静寂の中 何も考えずにぼつと座っている時間がたまらなく心地よい。本当にすごい迫力で身に迫ってくるエネルギーに感激でした。



2. 大峯奥駈道を青根ヶ峯へ【1】 中千本から上千本 水分神社へ

12時過ぎに蔵王権現像の強烈なイメージを頭に入れながら、吉野山の頂 青根ヶ峯に向かう。
大峯奥駈道のはじまりである。

この山上の狭い尾根筋には蔵王堂を中心とした金峯山寺とその門前町が中千本・上千本を経て吉野水分神社まで約6キロ続いている。みやげ物屋・宿坊と共に全山桜である。

そして、その先集落はなくなり、大峯神社を経て青根ヶ峯へ 約4キロの道のり。

奥駈道はさらに南へ続き山上ヶ岳 八経ヶ岳を経て熊野へ続くが、青根ヶ峯から奥千本 西行庵へ立ち寄って吉野へ引き返すコースを 色づきはじめた山を眺めながらのハイキング。



中千本から上千本へ【1】 2004.10.13.



中千本から上千本へ 【2】 2004.10.13.

車のすれちがいやつとというドライブウェイが上へ上へと続き、色好きはじめた樹木と眼下の景色を楽しみながらのハイキング。疲れを感じないままに高度を稼いでいる。

ところどころで舗装された道と交差しながら大峯奥駈道が遊歩道としてよく整備されて続き、その道標が見える。まだ山は紅葉には早いですが、ところどころで色づき、紅葉時の人出と車の波を考えると一番いいとき。

中千本の集落が途絶え つづら折れの急な坂を登り始めると山の斜面の緑に色づき始めた木々が映えて一層美しい。

どんどんと蔵王堂の大屋根が小さくなる。あつちへよったり、こっちで立ち止まったり。道端に座り込んで、山を眺めながら、握り飯の昼食。ぶらぶら気楽な上千本あたりのハイキングを楽しみながらの約1時間。坂道を登りきると義経千本桜で有名な「花矢倉」。

また、上千本の小さな集落の中に入り、美しい石垣の家並みの続く坂を登りきると人通りもほとんどない静かな山里 街道の奥に赤い立派な社殿と鳥居が見えてくる。



水分神社である。

鳥居をくぐり、境内に入ると静寂の別世界。

立派な社殿は重要文化財。

古くは青根ヶ峯の頂上に有ったとも伝えられ、この神社の奥に青根ヶ峯の頂があり、水分神社の名が示すとおり、今通ってきた街道筋「大峯奥駈道」が分水嶺であることが判る。



吉野山 上千本 水分神社 2004.10.13.

3. 大峯奥駈道を青根ヶ峯へ【2】 大峯奥駈道を青根ヶ峯へ

水分神社を過ぎると人家が途絶え、桜と杉林の中をまた、上へ上へと登ってゆく。

吉野山の頂上まではあと約5キロ尾根筋ののぼりが続く。

眼下には 蔵王権現堂の大きな屋根が緑の中に浮かび、今登ってきた道筋が見渡せ、その向こうには東西に流れる吉野川を挟んで金剛

葛城連山から大和・室生の山々が浮かんでいる。



大峯奥駈道が狭い車道と交差しながら上へ上へと登って金峯山神社の鳥居前へ出る。

大峰信仰の起点で行者はこの社から荒行に入るといふ。

ここから車道を外れ、山道を青根ヶ岳へと杉木立の中を進む。



大峯奥駈道 大峯奥駈道と鳳閣寺・黒滝集落への道の分かれ 2004.11.5.

程なく、杉木立の中に 大峯山への道を 示す道標。まっすぐ進むと鳳閣寺を経て黒滝へ下ってゆく道。左へ上ってゆく山道が大峯奥駈道である。

うっそうとした杉林の中の山道をさらに進み、西行庵・奥千本への別れを過ぎるとまもなく女人結界の石碑の前に出る。



大峯奥駈道 女人結禁制界の道標 204.10.13.

右が青根ヶ岳の頂上から山上ヶ岳に出る道 左が青根ヶ岳を巻いて山上ヶ岳へ続く道。

昔はここからが大峯奥駈道 女人禁制結界の境であった

巻き道は右側南の方が開けて展望が開けるので、このまま進んで反対側から青根ヶ岳に登ることにする。深い谷を挟んで幾重にも重なる大峯の峰々が続く展望が素晴らしい。座り込んでしばし展望を楽しむ。静寂の中にどこからかほら貝が鳴り響いて、この道が大峯奥駈道であることを思い出させる。



幾重にも重なって続く大峯の山々 大峯奥駈道 青根ヶ峯近辺で 2004.10.13.

15分ほどで青根ヶ岳を巻いたところで、青根ヶ岳からの縦走路と共に反対側を巻いてきた縦走路とドライブウェイの三叉路に出る。

ここから道はさらに山上ヶ岳へと続いているが、今日はここまで。
青根ヶ岳への登りへ引き返し、吉野山の頂上 標高858mの「青根が峰」
に立つ。



吉野山の頂上 青根ヶ峯

2004.10.13.

林の中に包まれ、青根ヶ峯の標識がかかっているのみで全く視界は開けない。
ここから奥駈道を山上ヶ岳までは約9時間ほど。

この峰に降った雨は、東へは落差50mの蜻蛉(せきれい)の滝を下って
音無川へ、南は黒滝の丹生川へ、西は下市の秋野川へ、そして北へは万葉
集に詠われた「象(きさ)の小川」へと流れて 宮滝で吉野川へ合流する。
吉野山は麓の宮滝から見ると美しいピラミッド型に見えるという。

古代から神名火山として神聖化された所以であるが、電車を下りて すぐに
尾根筋に取り付いたので、そのピラミダルの山の実感はない。

この頂まで上り下りなく同じような傾斜でまっすぐ尾根筋をのぼっ てきたことが、その証明か。。。。



4. 奥千本 西行庵を経て帰路へ

頂上に一寸いて すぐに反対方向に縦走路を女人結界のところまで下つてゆく。

その先で西行庵のある奥千本までちょっと下って寄り道して金峯山神社への帰路。

奥千本 苔清水 西行庵の道標に従って左に谷筋の山の中腹を下ってゆく。清水がほとぼしり出る苔清水ま
まで下りると山腹の狭いテラス状の広場にあり、桜の樹木の間から小さな庵が見える。全く人里から隔離 され
た深山の隠里 奥千本 西行庵である。



奥千本 苔清水 西行庵

周辺〔1〕

2004.10.13.

このあたりは谷筋をくだった山の中腹で 一番秋が早いのか紅葉し始めた樹木が美しい。このあたり、山の
一番奥の谷筋で少し寒いのか 一番はの色づきが早い。下ってきた斜面の上 金峯山神社への道に上ると周
囲の山が見渡せ、素晴らしい気色である。

静かな深山に時折 ほら貝の音が遠く聞こえて 静かに時が流れてゆく。
頂上から静かに周囲の山々を眺めるのとは一寸違ったもうひとつの山の楽しみの時でもある。



奥千本 苔清水 西行庵 周辺〔2〕 2004.10.13.

ハイキングの一团が下ってきたので、腰をあげて帰路へ尾根を越えてゆく。
道筋の露出している山肌がところどころ真っ赤で、鉄分を多く含んでいる
ことがわかる。



奥千本の帰路の山道で 見かけた鉄分を多く含んだ山腹



吉野・熊野は水銀はじめ、古代の鉱物地帯であり、修験の道もそれらの探査の道であったとも言える。
私はよく知らないが、産鉄の人たちも数多く入ったのであろう。
古代の鉱物資源地帯 多くの人たちがこの鉱物を求めて山に入り、修験
の聖地になっていったのか。。。。

金峯神社のところに戻り、上千本の集落をぬけ 下ってゆく。
ゆっくりと眼下に見える蔵王堂を眺めながら、今日のハイクを振り返る。
のぼりにはあまり注意しなかったが、尾根筋の東にはどっしりと金剛・
葛城の山が夕暮れの中にかすんでいる。



神戸にいとあまり意識がないが、こちらを見ると台地からどっしりと立ち上がったその姿の大きさに驚かされる。葛城のさらに北にこぶ二つのちっちゃな山が見える。二上山と思うのだが、定かでなし。こうしてみると 吉野は大和の国から本当に近い。古代の本道がこの地を通っていたことも理解できる。



吉野山の西北側に連なる金剛・葛城連山 2004.10.13.

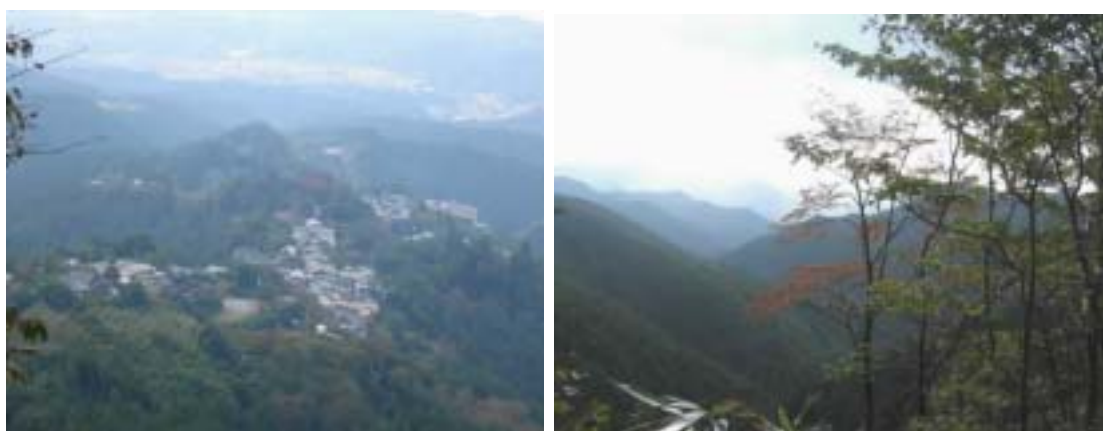
吉野はもっと深山でもっと宗教臭さがある山と思っていましたが、それがない。明るい山。

随分 イメージが違っていました。

これも 蔵王権現のあの強烈な姿と自然のみしか、眼にとまらぬためか。。。

再度蔵王堂に参って、眼に焼きついている蔵王権現の姿をもう一度思い浮かべながら近鉄の駅に下ってきました。

2004.10.13. 夕 Mutsu Nakanishi



世界遺産に登録された吉野山ハイク 【完】

蔵王権現三尊像を拝観して 大峯奥駈道を青根が峰まで

2004.11.5. M. Nakanishi